

八戸市地域おこし協力隊活動状況報告書

八戸市長
熊谷 雄一 殿

隊員氏名 福岡 沙織

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2024年10月分】

1. 実施した活動の概要・状況

ふるさと寄附金業務、取材・撮影、ラジオ出演、視察及びSNSによる広報活動を行った。

(主な活動) 浅草・お台場水上クルーズ、東京まち歩き視察

東京都の旅行会社が実施する『浅草・お台場水上クルーズ』と『東京まち歩き』を視察した。『浅草・お台場水上クルーズ』の参加者は、日本人団体客10人程と、それ以外は全員が外国人観光客であった。首都圏はインバウンドが多いため、クルーズ船の発券所には、英語と中国語での対応可能なスタッフが駐在していた。また、船内には日本語・英語・中国語の3か国語で自動アナウンスと標識が示されており、チケットの発券から降船までインバウンドに対応していた。八戸市の屋形船新井田丸のように、各地点に関する船内の観光案内は無かったため、観光客の立場としては案内がある方がより楽しめると感じた。ただ、地方において多言語対応するには人材確保が難しいため、自動音声や映像を使用した多言語での観光案内を考える必要があると感じた。

『東京まちあるき』は東京駅丸の内周辺を歩きながら、街の成り立ちや歴史、おすすめの見どころを案内する1.5時間のツアーであった。主催会社には、ボランティアのツアーガイドが多数在籍しており、英語対応が可能なガイドもいるという。東京駅駅舎の天井や外壁の装飾に歴史的意味が込められていることや、コンサート会場として利用される東京国際フォーラムの一角に、周辺に関する歴史的資料が展示されているなど、普段通行するだけでは気付かないことを知ることができて非常に面白かった。八戸市のガイド団体であるさんぽマイスターや今回担当してくれたガイドに共通するのは、その街に対する愛情を持ち、参加者に街の魅力を一生懸命伝えようとする姿であった。まちあるきは、案内するガイドを通してその街の第一印象が決まると思うので、まちあるきに関する知識と話術は勿論のこと、ガイドが参加者に与える印象が非常に重要だと改めて感じた。



クルーズ船とお台場



東京駅丸の内

2. 翌月の活動予定

ふるさと寄附金業務・新規返礼品提案、SNS取材・発信、ラジオ出演。